

THE UKI NEWSLETTER

不知火美術館リニューアル記念展を開催します

こすげいちのじゅうろく
KOSUGE1-16による
展覧会 未完星[mikān-sei]



撮影 大谷 健一

KOSUGE1-16の作品 巨大サッカーゲーム

アートを身近な存在にする参加型作品を各地で展開するユニット KOSUGE1-16を迎え、参加型の展覧会未完星 [mikān-sei]を開きます。[mikān-sei]は、宇城の特産果実のミカンと未完成の意味を含んでいます。

ミカン×未完 = [mikān] ?
さて、どんな展覧会になるのでしょうか。

会期 オープン日～6月4日(土)

園 不知火美術館 ☎32-6222

リニューアルオープンに向け活動中 熊本宇城高校生プロジェクト



県内の高校生17人(九州学院高校6人、熊本農業高校5人、松橋高校3人、ルーテル学院高校2人、開新高校1人)が図書館・美術館の紹介動画の作成や開館後のイベント計画などに取り組んでいます。

Instagramは毎月第2・4土曜日に更新。

1月8日には松橋駅からの徒歩ルートを紹介する動画を公開しています。

皆さん、ぜひフォローをお願いします。



↑活動状況はこちらから

4月からは、美術館サポート制度も始まります。美術に詳しくなくても大丈夫。資格は必要ありません。興味がある人は、不知火美術館ホームページ。



参加・活動できる美術館へ サポーター募集

展覧会を見るだけでなく、活動や創作の場として使用できる不知火美術館。展示室で自分たちの展覧会を行ったり、アトリエで開催する講座に参加したり、さらに自主的な創作活動やイベントを開催することもできます。

(2月中旬に情報掲載)をご覧ください。

- サポーター活動内容(例)
- ・ 作家の制作活動をサポート
 - ・ イベントの運営や企画
 - ・ 美術館の日常業務をサポート
 - ・ まちと美術館のパイプ役

KOSUGE1-16

2001年より、もちつもたれつをテーマに活動する土谷享と車田智志乃のアーティストユニット。分野を超えたプロジェクトを得意とし、国内外で展示空間全体を使った参加型のアートプロジェクトなどを発表。第11回岡本太郎現代芸術賞展では岡本太郎賞を受賞。

Artist Message



KOSUGE1-16
土谷 享
撮影 Hikaru Saito

これって美術館!?な展覧会
展示室には、巨大なサッカーゲームがドーンと登場。宇城の身近なものが選手となつて動き、実際に遊ぶことができる作品です。そして、もう一つ、市民とKOSUGE1-16の「未完」が集まる作品展も開催。みんなで作る「未完」畑への参加、お待ちしております。

「未完」大募集



未完の例
お父さんに贈るはずの編みかけマフラー

家の片隅や倉庫にある未完のものを美術館に展示しませんか。編み物、刺しゅう、模型、小説などジャンルは問いません。あなたの未完が誰かを勇気づけるかもしれません。

詳細はこちら→



オムロングループ企業と ICT化を推進

2020年3月に連携協定を結んだオムロンソーシアルソリューションズ(株)との取り組みの一部を紹介します。

市役所の業務効率化を推進する 最新技術の展示会



最新技術の説明を受ける市職員

昨年12月1・2日の2日間、安心・安全なまちづくりや効率的な市民サービスの提供に向けて、市職員を対象に同社が持つ最新技術の展示会を行いました。顔認証入室システム、河川や道路を遠隔で管理できる監視装置、自動で掃除・警備・案内

減災と低炭素化を実現する エネルギー設備導入



複合型ロボットの実演

をする複合型ロボットなどを紹介。今後、この展示会で紹介された技術を参考にして積極的にICTを導入し、効率的な行政経営を図ります。

同社と共同で行う事業が、環境省の補助を受けることになりました。

これは、避難所となる小川総合文化センターラポートに、太陽光、蓄電池、省エネルギー設備などを設置するもので、停電時のエネルギー供給や、CO2排出を抑制する、環境に配慮した活動の持続が可能となります。

市長政策室 ☎(32)1803